



大樹のこころ

1年生の生活

1年生が、入学して1週間が過ぎました。今日の校長室だよりは、1年生が小学校でどのような生活をしているのかを紹介します。

朝は、もちろん通学班登校です。初めて自分で歩くので、その歩みはゆっくりです。それに合わせるように班長が歩いてくれます。例年、この時期は登校が遅れがちになるものですが、時間通りに校門をくぐる事ができています。教室に行くと担任の先生が待っています。ランドセルから用具を出すのも一苦労ですが、これも小学校生活に慣れるための勉強です。朝の会では6年生が1年生の教室に「お助け」に来てくれます。1年生の子を相手にクイズをしたり、絵本の読み聞かせを行ったりしてくれます。



授業の時間では、多くは学校のルールの確認が行われてきました。この日は校庭に出て、現在工事中の箇所や危険な場所を確認して、安全に過ごすように指導がされました。この他にもトイレの使い方なども勉強していきます。また保健の健診もあります。昨日は保健室にて聴力検査が行われていました。



国語や算数の時間には、担任以外に補助する教員も教室に入って学びを支援します。国語では「線遊び」と称して、鉛筆でいろいろな線を書く練習をします。この際に鉛筆の持ち方や書く時の姿勢などを学びます。鉛筆の持ち方について、担任の先生は丁寧に確認指導をします。近年、正しい鉛筆の持ち方ができない若者が増えてきています。小学校では1年生の段階で、正しい持ち方を身につけさせようとしています。算数では教科書の絵の中から、どんなものがいくつあるのかを数える学習をしています。数図ブロックを使って具体的な操作をする中で、数の概念を学んでいきます。音楽の授業では「大樹寺小の校歌」を練習しています。1日も早く本校の校歌を覚えてほしいです。



1年生は、まだ給食が始まっていないので、3時間目を終えた後下校となります。この下校指導が大変です。下校方面別に子供たちは整列しなければなりません。しかし、1年生の子供たちは、まだ自分の下校方面を理解していません。先生方が地図と名簿とにらめっこしながら、子供たちを並ばせていきます。この整列に約30分ほどかかります(笑)。下校時にも各方面に複数の教員が付き添います。一緒に歩いていくと交通ボランティアの方が立ってくださっています。そして、お迎えに来てくださっている保護者に引き渡し。ここで担任の先生は、ほっと一息です。

下校については、今日は一斉下校でした。そして明日から1年生も給食が始まります。こうして小学校での「試運転」を終えて、1年生も本格的に小学校生活へ入っていくのです。